

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

| | | | | |
|----|-------|-------|-------|--|
| 受付 | 番号 | 16 | | |
| | 令和 | 5年 | 5月25日 | |
| | 午前・午後 | 2時58分 | | |

| | | | | |
|--|---|----|-------|--|
| 議会名 | 令和 5年 第 2回 佐野市議会定例会 | | | |
| 発言者 | 議席番号 | 4番 | 小森 隆一 | |
| 答弁を求める者 (選択してください) | <input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長 | | | |
| 一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください) | <input checked="" type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input type="checkbox"/> なし | | | |
| 大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目) | 小項目 (具体的な質問内容) | | | |
| 1. 誰も取り残さない不登校対策について (1) 不登校対策の現状について (2) 「COCOLOプラン」の推進について | ①本市の不登校対策の現状についてお伺いします。 ①文部科学省は、令和5年3月31日に、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していこうと「COCOLOプラン」(誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策)を発表しました。本市においても、教育委員会が、不登校の子どもたちの保護者であれば誰でも自由に参加できる「(仮称)保護者の会」を設置し、そこに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをコーディネーター役として派遣し、不登校の子どもたちの保護者を支援していくことが必要だと思いますが、現状と今後の取り組みについてお伺いします。 ②不登校の児童生徒は、一人一人の状況が大きく異なるため、丁寧な指導を行うために多様な学びの場の確保や、指導体制を整備することが必要であると思います。教室に行きづらくなった児童生徒が、学校内で落ち着いて学習できる環境「スペシャルサポートルーム」等を、本市内の全ての小中学校に設置する必要があると思いますが、現状と今後の取り組みについてお伺いします。 | | | |

| | |
|---|--|
| <p>2. 熱中症対策の推進について</p> <p>(1) 熱中症対策の現状について</p> <p>(2) 熱中症対策の今後の取り組み推進について</p> | <p>③学校の授業を、i) 自宅、ii) 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）、iii) 教育センターに配信し、オンライン指導できる指導体制を確立すべきだと思いますが、現状と今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>④不登校の生徒の高校進学を支援するため、i) 自宅や、ii) スペシャルサポートルーム、iii) 教育支援センター等での“学び”を、確実に学校での成績に反映させることが、重要であると思いますが、本市内の中学校における、現状と今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>⑤学校外にある不登校の公的支援施設「教育支援センター」の機能強化が必要であるとされていますが、今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>①今後地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれ、我が国において熱中症による被害が更に拡大する恐れがあります。こうした状況を踏まえ、本市としても熱中症の予防を強化するための取り組みを一層強化することが必要と考えますが、本市がこれまで行ってきた熱中症対策の取り組みについてお伺いします。</p> <p>①熱中症は、適切な予防や対処が実施されれば、死亡や重症化を防ぐことができます。熱中症対応マニュアル等の作成、WBGT(暑さ指数)の認知度向上ならびに行動変容に繋がる情報発信がさらに必要かと考えますが、見解をお伺いします。</p> <p>②熱中症による救急搬送者における発生場所の7割が屋内となっています。熱中症の予防のためには、クーリングシェルターの整備が必要と思われませんが、見解をお伺いします。</p> <p>③高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するために、介護や地域保健部門の関係者と連携し、どのような取り組みを進めているのか、また、外出が難しい高齢者世帯等のエアコンの点検や整備の推進や勧奨も必要であると思いますが、見解をお伺いします。</p> |
|---|--|

(3) 環境に配慮した熱中症対策について

- ④電気料金が高騰する中で、エアコンの利用を控えたりする方も少なくないと思います。電気代の高騰への対応も含めて、低所得者等に対して、適切な支援が必要と考えますが、見解をお伺いします。
- ⑤国は熱中症予防のため、WBGT（暑さ指数）を発表しており、学校は、その指数を活用して熱中症予防対策を推進していると思います。学校でのWBGT計の設置や運用等について、どのように取り組んでいるのか、お伺いします。
- ⑥子どもたちの熱中症予防対策について、通常や熱中症警戒情報が発令された場合、学校や通学時にどのように対応しているのか、お伺いします。
- ①現在、廃プラスチックや地球温暖化が社会問題となっております。本市では「環境にやさしいまちづくり」をめざして、3R運動の推進を行っていますが、現状の取り組みについてお伺いします。
- ②熱中症対策として、こまめな水分補給や塩分補給は絶対に欠かせません。水温については、深部体温を下げる効果と、水が胃に留まる時間が短く、水を吸収する器官である小腸に速やかに移動する事より、冷たい水（適温5～15℃）が熱中症対策に効果があると言われております。また、昨今では、SDGs等への関心から、マイボトルを持つ人が増えてきました。さらには、感染症対策として新しい生活様式として、非接触という事も気にするようになりました。
- 3RのReduceとなるペットボトル（廃プラスチック）削減による環境対策や避難所等の施設の水分補給に繋がる災害対策、そして、最も肝心である、冷たい水をこまめに水分補給できる等、様々な事象に配慮するため、現在販売しているペットボトル水に代わり、マイボトル給水スポット（ウォーターサーバー）を市役所、文化施設、学校、福祉施設、公民館、公園、その他、多くの場所に設置することを提案しますが、見解をお伺いします。